

TAKURA WATCHING

今月も町の話が盛りだくさん！



板倉特有の耕作を学ぶ

6月21日(金)、西小5年生54名が川田の田植え体験学習を行いました。水場の風景を守る会の指導を受けて田植えをした後、水車の体験も行いました。福知姫綺さん(岩田)は、「はじめはうまくできなかったけれど、こつをつかむとうまくなりました。またやってみたい」と感想を話しました。



星に願いを

7月4日(木)、児童館で七夕のつどいが行われました。七夕のつどいでは、色とりどりの七夕飾りの製作をしました。

その後、大きなささ竹に「ケーキ屋さんにになりたい」「サッカー選手になりたい」「一輪車に上手に乗れますように」などと思いの願い事を書いた短冊を飾りつけました。



大きなスイカにびっくり

7月9日(火)、大きなスイカが園児たちに振るまわれました。この大きなスイカは、川野辺善十郎さん(岩田)のご好意により各保育園に送られたもので、家庭では見られないスイカの大きさに園児たちはびっくり。「甘くておいしいね」と話しながら、切り分けられたスイカをほおぼっていました。



伝統文化に触れて

7月9日(火)、北小4年生19名が子ども伝統芸能学習教室で山口大杉囃子の体験学習をしました。児童は、パチを片手に保存会の模範演奏に合わせて鼓を打ちました。下山田姫菜さん(除川)は、「鼓を叩くリズムをとるのが難しかったけれど、楽しかった」と話しました。



訓練の成果を発揮

6月30日(日)、板倉消防署で有事に即応した消防技術の向上と消防団員の士気の高揚を図ることを目的として、第40回板倉消防団ポンプ操法競技大会が行われました。

競技は、消防ポンプ車から2本のホースを伸ばし、各選手の操作要領・行動・動作全般、有効放水までの所要時間を審査します。

各分団とも選手と団員が一丸となり、約3か月間の厳しい訓練の成果を発揮しました。日頃から地域の安全を守る各分団の迅速な行動とチームワークのとれたみごとな操法に、会場を訪れた多くの観客から大きな声援と拍手が送られました。



＜大会結果＞		＜最優秀個人賞＞	
優勝	第2分団	指揮者	黒川 誠(2)
準優勝	第1分団	1番員	石川英司(2)
	第3分団	2番員	君島 拓(2)
第3位	第4分団	3番員	根岸幹雄(2)
	第5分団	4番員	長谷川 力(5)

※敬称略。()内は分団名。

＜板倉消防団長賞＞
第3分団



夏の思い出妙義山

7月13日(土)～15日(祝)、小学校5年生を対象に板倉町子ども会育成会連絡協議会が主催する子ども会自然体験スクールが開催されました。子どもたちは、群馬県立妙義青少年自然の家に1泊し、登山やキャンプファイヤー、野外炊飯など、普段できない体験をしました。この催しは、育成会やボランティアなど地域の力に支えられ、子どもたちの心の成長と思い出づくりの場になっています。